



お知らせ

- #セミナー 7月14日(日) 自由学園明日館
- #畑儀文の合唱教室 7月22日(月) 草志舎
- #大阪芸大学生第2プロパティの作業参加 8月2日(金) 3日(土)
- #シンポジウム 8月26日(月)~28日(水) 六甲山荘
- #セミナー 9月14日(土) 草志舎
- #園遊会 9月23日(月・祝) 六甲山荘



満開のコアジサイ

第4回シンポジウム at ヴォーリス六甲山荘

「ナショナル・トラストの可能性」をさぐるシンポジウムも今年で4回目となります。いろいろな分野の専門家の講演や学生の発表は、いずれも刺激的で、聴きごたえがありました。今年も充実した内容になると楽しみです。

月日：8月26日(月)~28日(水)

場所：ヴォーリス六甲山荘 題：「ナショナルトラストの可能性IV」

スケジュール予定

26日14時 ナショナル・トラスト運動の目指すもの

- <田淵結 関西学院前院長> 「文化遺産の保存と精神の継承」
- <中嶋節子 京都大学大学院教授> 「歴史的環境保全の歴史と概念の形成」

27日10時 山荘の見学、ワーク

14時 保存活動の現状と展望

- <寺内聡 環境省近畿地方環境事務所神戸自然保護官> 「国立公園～自然と人が織りなす景観～」
- <宇佐美直治 宇佐美修徳堂代表取締役> 「文化財修復技術と素材について―掛け軸装を中心に―」

28日10時 ワーク

14時 参加者による研究発表予定

総合司会 穎原澄子 千葉大学准教授



参加費： 全日参加 会員3000円、一般5000円、学生1500円 (飲物込み)
一日参加 会員1500円、一般2000円、学生500円 (飲物込み)

2019年度セミナー at 東京

<主催：東京地区企画委員会>

文化財・自然という貴重な遺産を所有し守っていかうという民間による公益活動であるナショナル・トラスト運動の第一人者の英国ナショナル・トラストは所有する資産、支える会員数ともに世界最大の規模を誇ります。その運動を歴史、現状、理念の観点から、若手研究者3名が語ります。



日時 7月14日(日) 14時(13時45分受付開始)

場所 自由学園明日館 大教室タリアセン(東京都豊島区西池袋 2-31-3)

- 穎原 澄子(千葉大学大学院 准教授)『ナショナル・トラスト成立の法的根拠について：会社法、個別法、チャリティ法』
- 山本 真紗子(博士(学術)・東京工業大学 研究員)『Playing Our Part(トラスト新戦略)の現在』
- 澤田 悠紀(Japan Heritage 代表理事・帝京大学講師)『ナショナル・トラスト活動における「ナショナル」概念』

定員 24名(定員に達し次第締め切り)

参加費 1,500円 一般2,000円 学生500円 (お茶代含む)

園遊会 at 六甲山荘

この秋、六甲山荘で園遊会をひらきます。音楽をたのしみ、お茶を飲み、山荘にごしていただく企画です。



月日 **9月23日(月・祝)** 11時～15時

内容 ミニコンサート 第1回・11時30分～ 第2回・13時30分～

出演 チェロ奏者 J.Kitagawa と仲間たち

ランチ(希望者のみ) 石窯ピザ+サンドイッチ 900円

参加費 会員 1,000円 一般 1,500円 (コーヒーまたは紅茶、ケーキつき)

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください

ご報告 セミナー上期 第2回 5月25日(土) 草志舎

会員でもと監事の島田恒さんが「NPO が社会を変える」という題で、NPOという存在が社会にどれだけ貢献しているかを、いろいろな実例をあげてのお話しでした。私たちにとっても勇気づけられる内容でした。



ご報告 総会前の作業 5月13日(月)～15日(水) さくら荘

総会にあわせて資料や会員証などを会員全員にお届けする準備作業を行いました。スタッフの皆さんとても手馴れていて作業は順調にすすみ、3日で終了しました。ありがとうございました。

ご報告 2018年度通常総会 5月18日(土) 草志舎

出席者は少な目でしたが、委任状は多数よせられ定足数を大きくクリアし、総会は成立。議題はすべて承認されました。これで2019年度の活動が本格始動となります。懇親会もなごやかで、佐野宣治さんが「新人賞」をとられた写真の話題でもりあがりました。



シンポジウムのスタッフ募集

8月のシンポジウムは3日間にわたって大勢の講師と参加者をむかえる大イベントです。これをささえる厨房スタッフを募集しています。

・厨房担当 3～4人(昼食の準備、片付けと懇親会の準備)

昼食 参加者と発表者<26日、27日、28日> 懇親会 <26日、27日>

スタッフへのご参加は同封の用紙、あるいはメールでお申込みください。

ご報告 コウノトリの郷との交流 6月1日(土) 豊岡

長年農業体験を受けてくださっていた暇さんが現役を引退されることになり、豊岡での農業体験もこれが最後となります。間近にある巣塔にはコウノトリのヒナが2羽いて、私たちの田植え風景をみているようでした。



ご報告 畑儀文合唱教室 4月8日(月) 5月27日(月) 草志舎

4月から新しいメンバーをむかえました。おなじみの春の歌のほかにもカノン

(一種の輪唱) もいろいろ歌われて、合唱の楽しさが実感されます。

ご報告 ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク大会 6月15日(土) 東京



今年の大会は東京の国際基督教大学(ICU)でした。ヴォーリズの最晩年の作品であるディップフェンドルファー記念館が会場となりました。ICUのキャンパスは広大な敷地に緑に囲まれた建物が点在するというぜいたくな配置で、見学会も大勢が参加して盛況でした。

ご報告 セミナー上期 第3回 6月8日(土) 草志舎

京都府教育委員会文化財保護課で長年文化財の修復をしてこられた菅澤茂さんが「京都における文化財の保存と職人技術の現状」という題で、ご自身が手掛けてこられた修復事業の内容を写真を多用して話されました。いずれも一般にはたちいれない貴重な写真とお話して、参加者一同ひきこまれていました。



森のそば屋

<アメニティ・レポート「会員の声」に掲載できなかった原稿>

植松千代美

岩手県葛巻町に全国からそば好きが訪れるおそば屋さんがあります。ご主人自らそばを育て、収穫、脱穀、製粉。そのそば粉を使って、地元のお母ちゃん達がそばを打ち、湯がいて、自家製の出汁とともに供するお店です。仕掛け人は地元で暮らす高家章子さんと卓範さんご夫妻。お二人が暮らしていた自宅と水車小屋を利用して1992年に、地域の資源(冷涼な地域ゆえのそば栽培、受け継がれてきた水車という自然エネルギー利用システム、そしてどの家にも伝わるそば打ちの技術)を活かした地域おこしを、と考えて開店に踏み切られました。縁あって岩手に通うようになり、何度か訪ね、この連休にも、ここに来るたびに考えさせられます。日本中の多くの場所で失ってしまったものが、ここに残されているのは、その真ん中で踏ん張ってきた高家さんご夫妻の、地域とそこに暮らす人々への熱い思いがあればこそ。水車小屋という形のあるものだけでなく、技術や文化という形のないものも含めて、残して行く活動。私には美味しいお蕎麦をいただいた感動を伝えることくらいしかできませんが、もし機会があれば、ぜひ訪れてみて下さい。

ヴォーリズ六甲山荘の宿泊

六甲山荘には7月から9月のあいだ会員とその家族が宿泊できますが、今年から同伴の紹介者も宿泊できるようになりました。静かな夜の語らい、さわやかな庭での朝食・夏別荘の魅力を堪能できる滞在です。ぜひお試しください。なお宿泊のお世話をするスタッフの確保の都合上、お申込みはなるべくはやくお願いいたします。

料金 会員 3,000円、会員の家族 5,000円(小学生以下は半額)
紹介者 7,000円

宿泊室 洋室(定員2名)が2室、和室(定員2名)

食事 材料持ち込みのうえ自炊あるいは外食。

バーベキュー用の道具・炭もあります。(使用料1,000円)

寝具は用意いたします。洗面具、タオル、寝巻等はおもちください。

*山荘の敷地内は禁煙です。ご協力をお願いいたします。

六甲山荘宿泊スタッフを求めています

六甲山荘では7月から9月に宿泊をお受けしていますが、そのときのスタッフを募集しています。

仕事の内容は宿泊者のお迎えと送りだし、寝具、風呂の準備、後片付けなどです。会員のペア(ご夫婦あるいはお友だち)一組で担当していただきます。

宿泊スタッフに登録してくださると、宿泊の申し込みがあったときに、事務局から〇〇日にスタッフができますかと打診して、ご都合があればお願いすることになります。

夏のあいだのすずしい一仕事、いかがですか?

第2プロパティたより～4月5月

第2プロパティあらため兄弟の森は2020年4月の公開をめざして整備作業が始まっています。作業はほぼ毎週末に行うというハードなものですが、開発委員会メンバーが中心となって着々とすすめています。

角倉起美さんのルートで大阪芸術大学の福原成雄教授（芸術学部環境デザイン学科）からアドバイスをいただき、8月2日3日には芸大の学生4名が作業応援に来てくれることになりました。

作業日：4月13日（土）18日（木）21日（日）28日（日）29日（月祝）
5月4日（土）11日（土）12日（日）19日（日）26日（日）

4月5月の作業内容：石垣ゾーンの花壇づくり、ステージづくり、客席部分の整地、植樹

植えた植物：アジサイ、ウツギ、オオデマリ、カキツバタ、キキョウ、クチナシ、
ショウブ、ドウダンツツジ、ヤマボウシ、シャクヤク

体験ワーク：5月19日に1名が参加してくださいました。



体験ワークへのお誘い

第2プロパティの整備作業はほぼ毎週末行っています。この作業に“体験ワーク”として会員外の方のご参加を募っています。作業は苗を植えたり、土を掘ったり、草を刈ったりというものです。自然のなかで一日汗をながして何かをしあげるといった体験をしてみたいという方がおられましたら、ぜひお誘いください。

実施日：週末の土曜日あるいは日曜日 午前10時30分～午後4時くらい
参加費：500円（ボランティア保険代）
持ち物：軍手、昼食、飲物、汚れてもいい服装

ボランティア保険に加入しますので、お申込みは1週間前までに、住所、電話番号とともにご連絡ください。

大阪芸大学生対応 スタッフ募集

大阪芸大の福原教授と学生5名が8月2日3日に作業応援に来てくれます。六甲山荘に1泊2日のその期間の厨房スタッフを募集します。

時間 10時～16時30分
内容 昼食の準備片付け、
夕食の準備

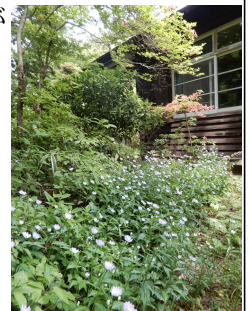
おいでになれる方はご連絡ください。

六甲山荘たより

一般公開は4月6日から始まりました。4月初めの来場者は少なかったですが、皆さん熱心な方々でガイドのし甲斐がありました。ゴールデンウィークの10連休もスタッフが交代でのりきることができました。5月になると花がっつぎと咲き、小鳥の音がたえまなく響いて、心地よい時がながれます。

4月5月の公開日数：21日 来場者：151名

南庭のミヤコワスレ→



本のご紹介

*石川憲彦（会員）著

「成長」とは「発達」とはなんだろう？

児童精神神経科医である著者が、信頼しあえる関係を重視した場の精神医療とはなにかを探る「こころ学シリーズ」の第2巻。自然治癒力と「場の療法」の可能性について語ります。医師としての40年余の経験から生まれた集大成としてのシリーズです。

ジャパンマシニスト社刊こころ学シリーズ 3700円＋税

*吉田与志也著

「信仰と建築の冒険」

著者はヴォーリズの盟友だった吉田悦蔵の孫で、吉田家に残る膨大な資料をもとに、ヴォーリズと共鳴者たちの軌跡を、とくに前半期を中心に年代記式に記した力作です。

サンライズ出版 2800円＋税

募金のご報告～4月5月

4月、5月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました

<六甲山荘屋根葺替え資金>《4月5月合計 192,750円 2019年度累計 192,750円》

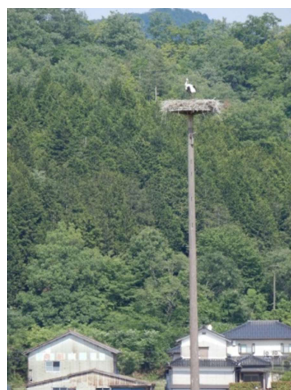
<一般資金>

《4月5月合計 172,040円 2019年度累計 172,040円》

*文化遺産継承基金

《4月5月合計 364,790円 2019年度累計 364,790円》

コウノトリの郷との交流



巣搭の上のコウノトリのヒナ



第2プロパティ作業風景



広場に芝の種をまく



子どもたちが参加した体験ワーク



小寺池に至る坂道の整備



苗の植え込みと道の整備